AAR Japan
認定NPO法人 難民を助ける会

～障がい者を支え続ける職業訓練～
ミャンマー

ミャンマー

障がい者を支え続ける職業訓練

- 実施期間：2026年4月～
- 募集金額：500万円×2口

ミャンマーの基本情報

民族紛争が長期にわたって続き、経済開発も遅れ、人道上の課題を多く抱えています。
また、2021年2月の非常事態宣言の発令以降、政治・経済・社会全般で混乱が続いています。
国民の3人に1人が貧困に陥っています。

面積 ： 68万平方キロメートル（日本の約1.8倍）

人口 ： 5,413万人（2023年推計、世界銀行）

首都 ： ネーピードー

民族 ：ビルマ族（約70%）、その他多くの少数民族

言語 ： ミャンマー語（公用語）、シャン語、カレン語など

宗教 ：仏教（90%）、キリスト教、イスラム教等

概 況

国内全土で社会インフラの整備が遅れており、特に障がい者は医療や教育へのアクセス、就労の機会が限られています。政府は障害者権利条約に加入し、2015年には障がい者権利法を制定するなど、障がい者の権利を守るための整備を進めています。しかし、障がいのある人々への偏見や差別は根強く残っており、学校や交通機関のバリアフリー化や、障がい者のニーズに合った教育を実施するための人材育成などの課題も残されています。

231万人

2014年時点で、ミャンマーの人口
約5,141万人のうち障がい者は約231万人
そのうち障がい児は約23万人 ※1

67%

障がい児の不就学率は67%
非障がい児（19%）の3倍以上 ※2

31.7%

男性障がい者の非識字率16.9%に対し
女性は31.7% ※2

これまでのAARの主な活動

2008年～2010年

大型サイクロン「ナルギス緊急支援」

死者約15万人、被災者約240万人に上ったサイクロンの被災者支援を実施。約9万人に緊急支援物資を提供。障がい者支援、心のケアなども実施。

2013年～2016年

地雷対策

地雷の被害から身を守るための方法を掲載した教材を作り、啓発活動を実施。

2017年～2020年

障がい者の生活環境向上支援

障がいへの理解促進を含む地域作り、学校など公共施設のバリアフリー化、障がい者への補助具の提供などを実施。

2021年～2024年

インクルーシブ教育推進

障がい児がその特性にあった教育を受けることができる体制を構築。学校のバリアフリー化、子どもサポートグループ活動などを実施。

活動地・基礎情報

青い建物が職業訓練校。校舎と寮は日ごろから訓練生が清掃しています。

最大都市ヤンゴン

ヤンゴンはミャンマー国内最大の都市で、経済の中心として発展しています。遺跡や寺院、大きなマーケットは、観光スポットとしても有名です。

障がい者を取り巻く環境が厳しい同地で、AARは2000年にヤンゴンで障がい者のための職業訓練校を開校しました。身体に障がいのある市民に、職業訓練と継続的な就労支援を提供する民間の職業訓練校としては、国内唯一です。約25年の運営実績はミャンマー全土で有名で、開校以来、2千名を超える卒業生を送り出し、社会参加・経済的自立を後押ししています。

2021年2月の非常事態宣言以降、政治経済が混乱し、治安が悪化しています。AARは、治安状況を常に注視しながら慎重に活動にあたっています。

現在の状況と課題

理容美容コースで、マネキンを活用してパーマ施術に取り組む訓練生。同コースでは、市場のニーズに応えるべく、ネイルやメイク、フェイシャルエステも学びます。

職業訓練校には、洋裁、理容美容、コンピューターの3コースを設け、各コース約15人、3学期制で年間約130人を受け入れています。障がいにより通学が困難な場合や遠方に居住している訓練生を受け入れることや、集団生活によるコミュニケーション能力などの向上の狙いもあり、全寮制となっています。

1学期（3.5カ月）の間、お互いの障がいを理解・配慮しながら、食事の準備や清掃などに協力して取り組むことで、社会性を養います。より多くの障がいのある方を受け入れ、社会参加・自立を後押しするため、訓練校の学費、寮費、交通費などはすべて無料で、AARが支援しています。

まるごと募金プロジェクト2026－活動概要

洋裁コースで実技の習得に励む訓練生

障がいのある若者の未来を支える

↓

就労に必要な技術と寮生活を通じた社会性の習得。経済・社会的自立を後押しします

活動内容詳細

- 応募書類と面接により各コース15人前後の訓練生を選定し、入学の案内や受け入れの準備をします。

- 訓練生が入寮します。3.5カ月間、職業訓練を実施します。技術やビジネススキルのほか、寮生活や課外活動を通して社会性のスキルを習得します。

- 技術を身につけることで、就労の機会を拡大します。訓練期間の終了とともに卒業となります。卒業後も就労をサポートします。

募集金額

500万円×2口

【1口500万円分の場合】

- 3コース1学期分の運営費（寮の運営費、就労先の企業開拓等の費用も含まれます）。45人前後の訓練生の技術習得を支え、経済社会的自立を後押しします
- 卒業後のサポート（就労先紹介、補助具提供）など

- お名前や法人名を記名したプレートを訓練校に設置します
- 治安が安定していれば、ご希望に応じて訓練校を訪問いただき、校内や授業の様子をご案内します (詳細はご相談ください)

コンピューターコースの訓練生。エクセルやワードのほか、近年のニーズに応え、写真や動画編集ソフトを使う授業も実施しています。

AAR職員から

未来を切り拓く命綱を守る

ミャンマーでは、紛争や災害の影響により、多くの人々が障がいを負い生活基盤を失っています。そのような中、この訓練校は障がいのある若者にとっての希望であり、未来を切り拓く命綱です。働く機会を得られなかった若者が安定した収入を得て家族を支えられるようになるなど、これまでに多くの訓練生の人生を変えてきました。どうか、この希望の場を未来へつなぐ力をお貸しください。

ニン・ワーワー・ウィン ミャンマー・ヤンゴン事務所長

ミャンマーの大学で物理学を学んだ後、国連やJICAで貧困層や低所得者を支援するマイクロファイナンス事業などに従事。2003年12月にAARに入職して以来、職業訓練校の「校長」として運営管理、人材育成を長年担っている。

スケジュール

募集期間	2026年4月　～
実施期間	４カ月間（予定）
中間報告	事業開始後から約2カ月後に進捗をご報告
完了報告	事業完了後、２～３カ月以内　（予定） 完了報告は、駐在員・現地職員によるオンライン報告会、ご訪問による報告、書面によるご報告など、ご希望に応じて行わせていただきます。

その他

- 現地事情によって支援活動が遅延ないし変更される場合があります。
  その際は、事前にご相談いたします。
- ご支援額を下回る金額でプロジェクトを終了した場合、ご相談の上、
  次なる支援などに活用させていただきます。

お問い合わせ

AAR Japan

特定非営利活動法人　難民を助ける会

〒141-0021　東京都品川区上大崎2-12-2　ミズホビル7F

Tel.03-5423-4511　Fax.03-5423-4450

www.aarjapan.gr.jp

まるごとプロジェクト募金担当：桐生（きりゅう）、平井（ひらい）

フリーダイヤル：0120-786-746